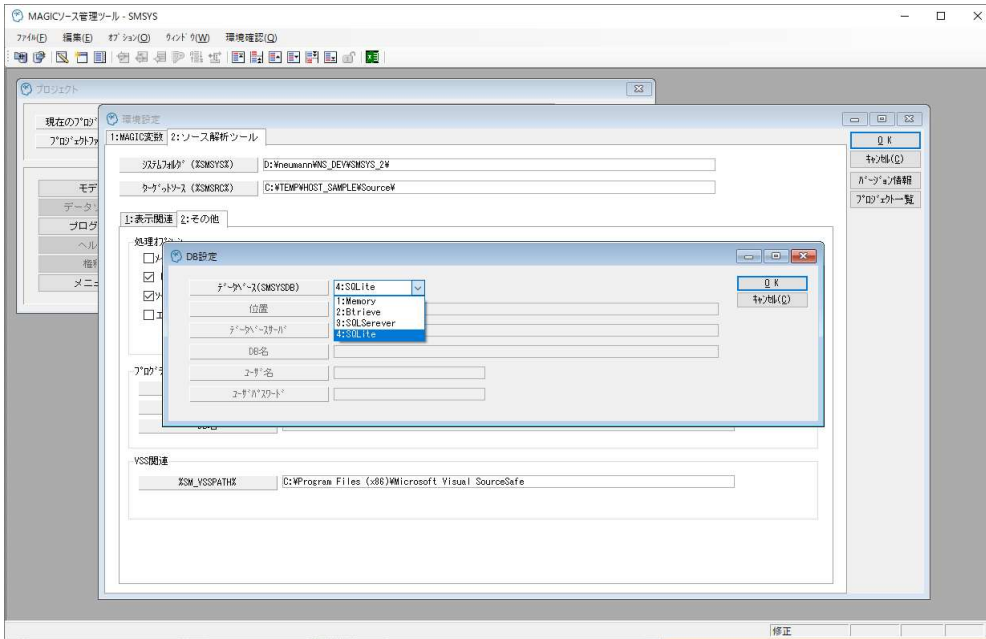


Ver0.98新機能の紹介

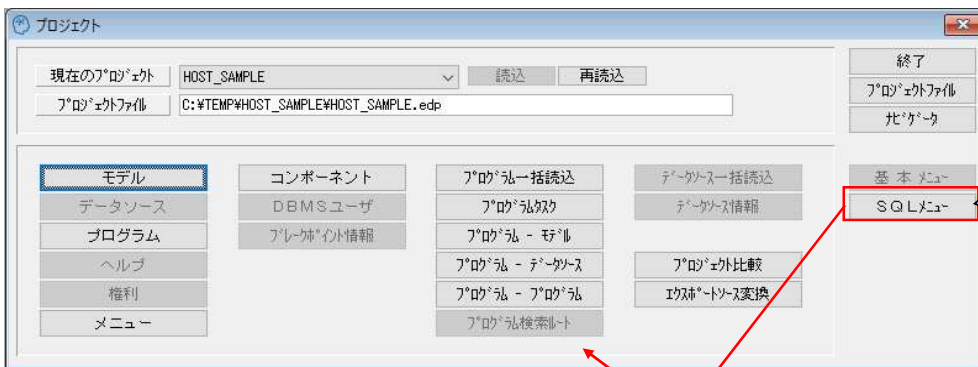
- ① データベースにSQLiteを利用できるようになりました。

プルダウンメニューから「環境設定」→「プログラム解析データDB設定」を表示し、データベースを「4:SQLite」に変更します。



- ② データベースにSQLデータベースを選択したときのメニュー選択ボタンをプロジェクト画面の右側に配置し、簡単に選択できるようになりました。従来の機能(基本色検索、フォント検索、エラー検索、関数検索、SQLタスク検索)に加え、下記の機能を追加しています。また「クエリ」ボタンにより実行しているSQLクエリを確認することが可能です。(「クエリ」ボタンの無いプログラムもあり)

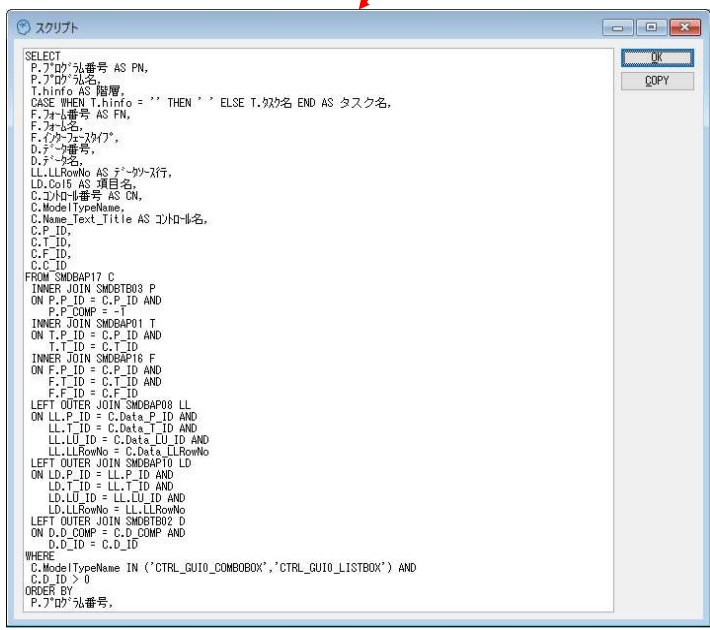
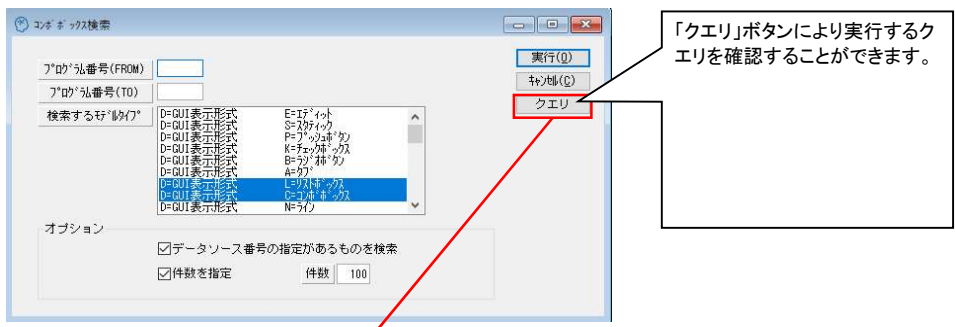
インデックス使用箇所検索	データやプログラムを指定して、インデックスの一覧を検索表示します。
データ再リンク検索	親タスクのリンク項目を更新している箇所を検索します。
メインデータ編集プログラム検索	メインテーブルを編集しているタスクの一覧を表示します。
実カラム使用箇所検索	データのカラムを指定して、プログラム中での使用箇所を検索します。
カラム名検索	カラム名に含む文字列を指定して、データを検索します。
変数項目名検索	変数項目名に含む文字列を指定して、プログラムを検索します。
データ利用コンボボックス検索	モデルタイプを指定してプログラムを検索します。
コンテキストメニュー検索	プログラム中で使用しているコンテキストメニューの一覧(フォーム、コントロール)を表示します。
その他の基本色検索	テーブルのハイライト行の色、エディットのフォーカス色等、特殊な基本色を検索します。



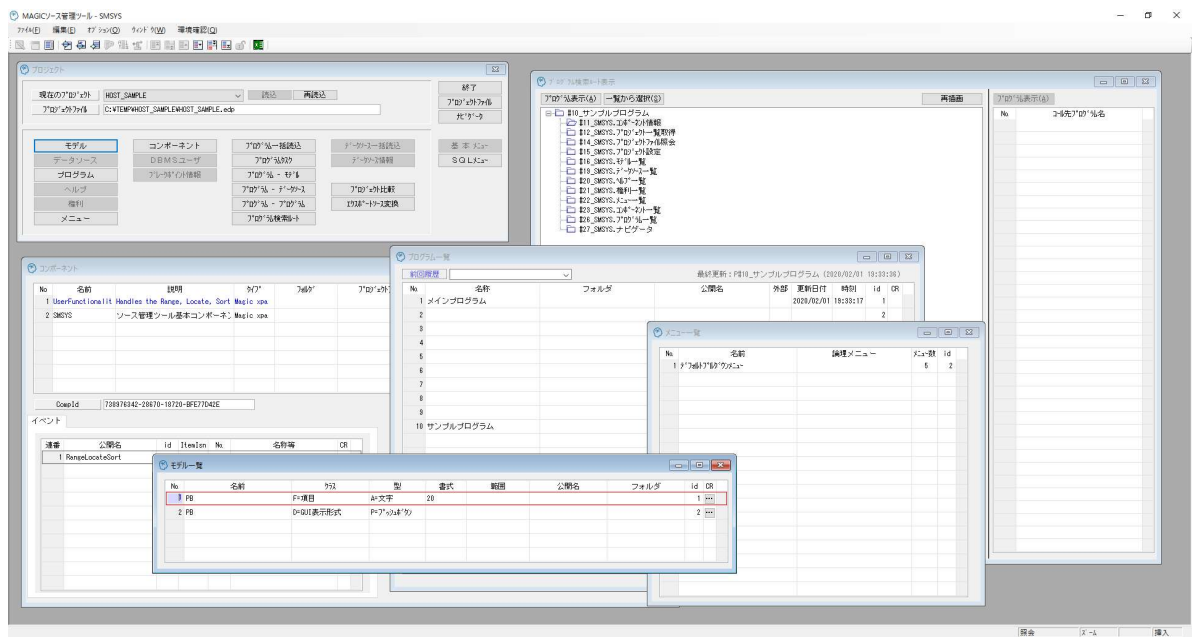
解析結果を残すデータベースにSQL対応のDBMSを選択したときは、「SQLメニュー」選択ボタンを表示します。



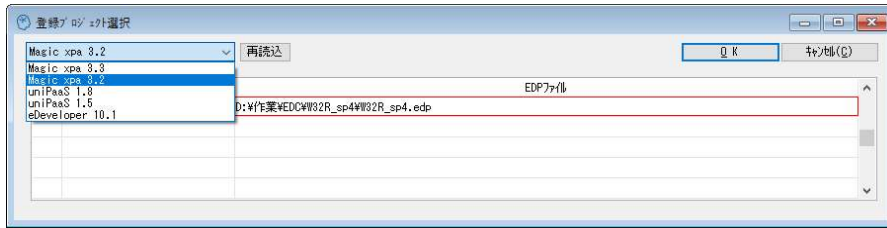
※SQLメニュー実行例



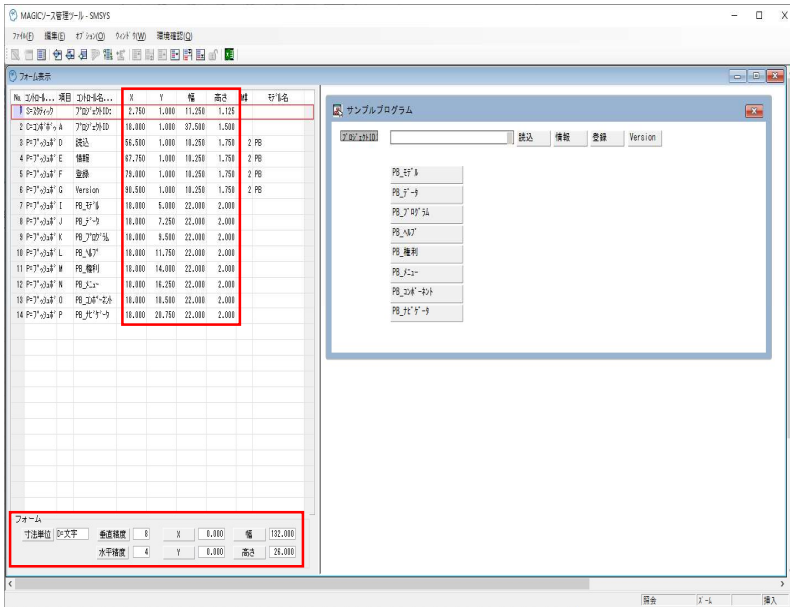
- ③ 基本メニューで起動するプログラムの基本的なものはクローズボタンを押さない限り、MDI上に残すようにしました。これにより複数のウィンドウを表示したままにすることが可能になりました。



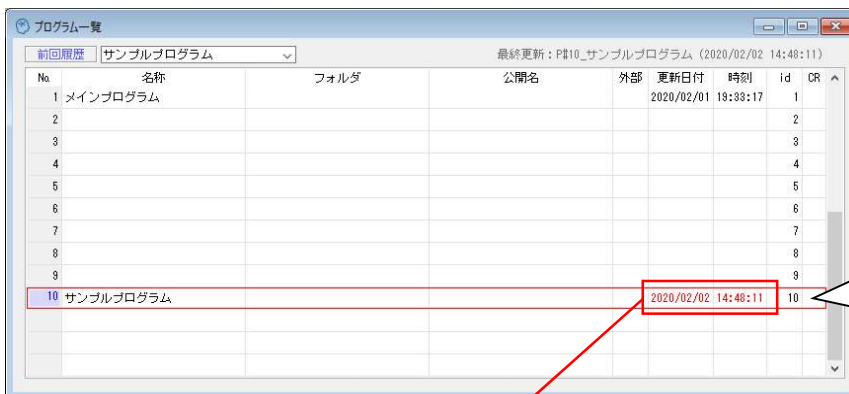
- ④ 「最近のプロジェクト読み込」(「環境設定」→「プロジェクト一覧」)では、コンボボックスからMAGICのバージョンを指定することにより、インストール済のMAGICのそれぞれのバージョンを指定してプロジェクトを追加することができるようになりました。



- ⑤ フォーム表示(プログラム内容表示画面の「フォーム」タブからズーム)画面では、実際の座標値を表示するように改善されました。また、フォームの精度、X、Y、幅、高さなどを表示します。



- ⑥ 解析済みのデータがある場合は、プログラム一覧にて解析時の更新日付と現在の更新日付をチェックし、未更新のプログラムを色分け(更新日付、時刻を環境設定「テーブルハイライト行」で設定した色で表示)して表示するようにしました。



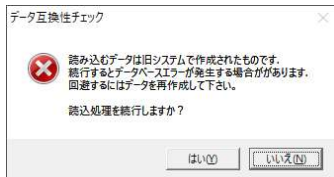
解析データが作成済で、その後プログラムに編集がある場合は日付を比較して色分け表示します。
コンテキストメニューから「プログラム解析情報」を選択することにより、更新時刻等の情報を表示



⑦ プロジェクト比較では、修正のあったデータの詳細な差異(カラムの追加、変更、削除、及びインデックスの追加、変更、削除)をチェック機能が追加されました。



⑧ データの定義を変更しました。データベースにSQLを選択したときのカラム名等を見直しています。このため、過去のバージョンで作成された解析データとの互換性はありません。
(データのバージョンチェック機能が実装されているので、古いデータを開こうとした時はメッセージが出ます)



<対処法>

- ① 上記のメッセージダイアログで「いいえ」を選択します。
- ② プロジェクト画面の「再読込」ボタンを押します。

